

牛久：学校周辺に見る自然

第45号 ひたち野うしく小

2020年11月29日発行

＜ 秋のみずべ公園 ～④カマキリ・バッタのなかま ＞

ひたち野うしく小4年生と歩いた秋のみずべ公園、今回はカマキリやバッタのなかまです。



ハラビロカマキリ（左）と、
その卵のう（右2枚）。



ひたち野うしく小開校のころは、みずべ公園のカマキリで一番よく見られたのはオオカマキリとこのハラビロカマキリで、その他、チョウセンカマキリ、コカマキリも見つかりました。ここ数年は背の高い草が刈り取られるためか、オオカマキリやチョウセンカマキリは年々少なくなっているように思います。そのためか、ハラビロカマキリばかりが目だつようになりました。

バッタのなかまでは、学校の水辺の塔やビオトープでも見られるコバネイナゴやオンブバッタ、ショウリヨウバッタがここでも見られました。珍しい種類ではありませんが、めづらしゆるい 時期的にこれまでのじきでき 観察授業では見つかりにくかったショウリヨウバッタモドキを、今回は見つけてくれました。ショウリヨウバッタとどこが違う？

コカマキリ、つかまえた！



コバネイナゴ（左）とショウリヨウバッタモドキ（中）、オンブバッタ（右）。

【理科支援員：宮内】